

学校教育自己診断の結果

1：児童生徒

NO	設 問	令和3年度の 肯定的回答率	令和2年度 との比較	令和2年度	令和元年度
1	学校は楽しい。	96.3	↑ 5.0	91.3	83.1
2	授業は、教材（プリントや資料など）や教え方など工夫され、わかりやすく楽しい。	92.6	↑ 3.5	89.1	87.7
3	先生はわたしたちのことを大切にしている。	96.3	↓ 0.6	95.7	90.8
4	自分の将来や進路について、考える機会がある。	56.4	↓ 5.8	62.2	56.9
5	先生は、いじめについてわたしが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	76.5	↓ 5.7	82.2	68.2
6	気軽に相談できる先生がいる。	83.6	↑ 3.2	80.4	89.2
7	自分やほかの人の大切さや社会のルールについて学習する機会がある。	88.5	↑ 10.7	77.8	81.5
8	先生はわたしたちの心や身体のことをわかってくれている。	98.1	↑ 4.6	93.5	89.2
9	先生は、周りの人とのつながりに気を配ってくれている。	96.3	↑ 2.8	93.5	87.7
10	行事は、楽しく参加できるよう工夫されている。 (本校、精神、阪大のみ回答)	86.2	↑ 11.2	75.0	83.3

<コメント>

- ▼ビデオがみたい (精神)
- ▼歌の動画をみたい (精神)
- ▼わにタイムに「逃走中」がしたい (精神)
- ▼たくさん図工、算数、生活、書写がしたい (精神)
- ▼わにトレで、みんなでたくさん「逃走中」がしたい (精神)
- ▼ターミネーターの映画を作りたい (自分で演じたい) (精神)

▼中学生や他の学年の子どもと一緒に体育がしたい (精神)

▼わにタイムで「引っ越しドッチ」がしたい (精神)

▼わにタイムで「しっぽとり」がしたい (精神)

▼個別で授業できるようにしてほしい (精神)

▼特にはないです。いつもありがとうございます。 (精神)

▼信用できないから相談しません。 (精神)

▼遊ぶ時間を作ってほしい。みんなで遊びたい。 (精神)

▼特定の生徒と距離をとってほしい (精神)

▼科学実験がしたい。(阪大)

▼今のままで良い。(滝井)

▼竹内先生の授業を増してください。(滝井)

▼特になし。(滝井)

2：保護者

NO	設 問	令和3年度の 肯定的回答率	令和2年度 との比較	令和2年度	令和元年度
1	子どもは、学校を楽しみにしている。	96.6	↑ 4.9	91.7	91.2
2	授業内容は、子どもに合うように工夫されている。	100	0	100	93.0
3	学校の教育方針に共感できる。	100	↑ 4.3	95.7	84.2
4	学校は、子どもの将来や進路などについて適切な指導を行っている。	77.4	↓ 2.4	78.3	70.2
5	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	73.1	↓ 8.7	81.8	57.9
6	学校は、人を大切にできる心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	90.0	↑ 3.6	86.4	75.4
7	学校は、ホームページ等で教育情報の提供について努力している。	86.2	↑ 3.6	82.6	63.2
8	教育相談や懇談のときなど、子どもの学習目標の設定に親も関わる機会が設けられている。	86.2	↑ 8.9	77.3	77.2
9	懇談や学校行事等に参加したことがある。	76.9	↑ 22.4	54.5	57.9
10	学校は、子どもの身体や心の状態を理解している。	93.5	↓ 2.3	95.8	96.5
11	学校は、前籍校や病院と連携して指導にあたっている。	96.9	↓ 3.1	100	94.7
12	学校は、日常の教育活動において、子どもの人権を尊重している。	93.8	↓ 6.2	100	93.0
13	学校は、地震や台風警報等への対応を保護者に伝えている。	58.6	↓ 3.3	61.9	56.1
14	学校は、子どものことについて、保護者の悩みや相談に応じてくれる。	93.5	↑ 1.8	91.7	86.0
15	保護者間で交流する機会がある。	44.8	↑ 4.1	40.7	33.3
16	行事は、子どもが楽しく参加できるように工夫されている。	85.7	↑ 16.5	69.2	93.3

※精神分教室では、保護者に配布していない。

<コメント>

▼楽しく先生と会話したり、授業も楽しかったそうです。(枚方)

▼授業が受けられることには感謝しています。しかし、期末テストの範囲まで進んでいないのにテストを受けさせられるところでした。(枚方)

子どもから聞かなければわからなかったので、全体を把握しておくべきだと思います。(枚方)

また体調や治療状況に関わらずぐいぐい授業をする先生もいるので本人に確認しながら進めていただきたい

です。(枚方)

▼ベッドサイド学習でしたが「学ぶことが生きることである」「学習が治療のエネルギーとなる」ことを病棟のスタッフ（ドクターや看護師）に少しは伝わったと思います。

今後も病院のドクターに理解を深めていただきたいです。オンライン学習によって前籍校の授業を受けられる環境をすすめてほしい。アート活動など外部団体のイベントなども病弱教育として取り組んでほしい。

(阪大)

▼苦手なことがしなきゃならないこと、苦手ではない！に変わっていったことに感謝しています (阪大)

▼教育相談や懇談をした事がないのでわかりません。と設問8の無回答の理由として記載あり (滝井)

▼3年間、お世話になり、ありがとうございました。良い先生方に恵まれ、幸せな子です。(滝井)

3：病院関係者

NO	設 問	令和3年度の 肯定的回答率	令和2年度 との比較	令和2年度	令和元年度
1	子どもは、学校（病棟）で学習することを楽しみにしている。	85.5	↑0.5	85.0	85.6
2	学校は、子どもの身体や心の状態を理解し、適切な指導を行っている。	85.9	↓0.8	86.7	77.5
3	学校は、子どもの治療や入院生活に良い影響がある。	92.7	↓2.0	94.7	92.5
4	学校では、子どもの個人情報を守られている。	90.8	↑5.8	85.0	85.0
5	学校は、病棟と連携して教育活動を行っている。	85.2	↑1.1	84.1	78.8
6	病院と学校の定期連絡会は役に立っている。	73.0	↑4.9	68.1	63.8
7	学校は、病弱教育の専門性向上のために努力している。	83.7	↑3.2	80.5	75.6
8	問題が起こった際、学校は迅速に対応することができている。	84.7	↑5.9	78.8	70.6
9	学校の行事は、子どもが楽しく参加できるように工夫されている。	91.0	↓6.4	97.4	87.9

<コメント>

○関西医科大学総合医療センター分教室（滝井）

▼いつもありがとうございます。

▼小児科対応のチームでないため子どもとコミュニケーションがとれていません。すみません。

▼小児を担当することがないのでわかりません。すみません。

○関西医科大学附属病院分教室（枚方）

▼他の院内学級との交流があればいいと思う。Webがつながる現在なら可能ではないでしょうか。

▼病弱教育で取り組まれている内容や勉強会で学んだことを病棟で教えていただいたら、医療者側でも取り組める。連携が取れたらいいなと思いました。

○大阪大学医学部附属病院分教室（阪大）

▼自分の業務の範囲で回答します。入院療養中、“普通”の“健康な”自分を感じられる時間や場として、院内学級の存在は大変学ぶ子供たちの成長発達に大事であると感じています。（事務職）

▼院内学級にて“学べる”ことで自分が病人ではなく、学生なんだと確認でき、支えにして居る患児がたくさんいます。いつもありがとうございます。（医師）

○大阪精神医療センター分教室（精神）

▼個別で言語化を促す時間をとって頂きありがとうございます。

▼室長一人に負担がかかっていないか心配です。異動があってもこのシステムが変わらないようにお願いします。

▼朝の申し送りの時間の電話が多い。忘れ物などは、取りに帰らなくてもいいような対応を検討してもらえるとありがたい。

▼個別指導を含め子どもたちに向き合っていただき有難く思います。

看護と違い替えがきかない分、教員の先生方の大変さは我々の想像以上かと思います。

対応の難しい児童たちへの工夫など逆に教えていただいたりできたらと思います。（精神の看護の経験が無いので）。

また、対応の難しい児童で困っていることがあれば、もっと病棟と意見交換できたらいいなとも思います。

今後の自分の活動のために様々な視点や立場からの意見が聞きたいです。

中学生との交流など子どもたちにとって一つでもよい体験を考えていただき感謝しています。

▼教員の対応能力の向上が必要だと思います。（特に不穏状態の患者など）全体的に対応の質が下がっていると思います。

▼これからも情報共有しながら児童生徒にとってよい経験ができるように、よろしくお願いします。

▼登校・下校時間がバラバラ、忘れ物が多い、教室が違くと数分の差で下校、その度に分教室から電話が頻

回。何とかありませんか。

▼病棟スタッフが学校までトラブル対応に行くことが増えているように思う。

病棟スタッフと教員がもっとコミュニケーションをとれるといいですね。

これからも一緒に頑張りましょう。

▼トラブルが起こり病棟に連絡される際、「連れて帰ってください」「帰させます」と言っただけで、理由がわからない時があります。

一言伝えて頂けたら助かります。また、その対応を病棟にまかせっきりの方もいらっしゃいます。

病棟と学校と協力していきたいと思っています。

▼子どもの個人差はあると思うが、1～6時間の授業をベースに時間割を考えてほしい。

▼ハンカチや赤白帽子は学校に予備を置いておくことはできないでしょうか。

▼子どもたちが、身体や心の不調を訴えた際、病棟にすぐに帰って来ますが、学校で休息する場所を設け、様子を見る等行ってもらえるとありがたい。

また、不調時の対応等、病棟と学校で話し合いをしてほしい

▼お忙しいとは思いますが、タイムアウトから振り返りまでの時間が長すぎて2時間近く自室待機していたこともあり、できれば用事の先に行って頂きたい。

4：教 職 員

NO	設 問	令和3年度の 肯定的回答率	令和2年度 との比較	令和2年度	令和元年度
1	職員会議や各分掌等、学校組織は有効的に機能している。	73.9	↑ 5.4	68.5	69.6
2	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	93.5	↑ 12.0	81.5	87.5
3	学校運営に、教職員の意見が反映されている。	69.6	↑ 4.8	64.8	57.1
4	年度末反省等、教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	78.3	↑ 13.5	64.8	67.9
5	公開授業や研究授業等、授業力向上に向けた取り組みが推進されている。	52.2	↑ 0.3	51.9	64.3
6	児童生徒の実態をふまえ、学習内容・方法の工夫・改善を行っている。	100	↑ 9.3	90.7	96.4
7	児童生徒の指導について、関係教員間でよく話し合っている。	95.7	↑ 6.8	88.9	92.9
8	児童生徒の指導において、家庭との連携ができています。	78.3	↓ 14.3	92.6	85.7
9	児童生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	82.6	↑ 3.0	79.6	82.1
10	いじめ（疑いを含む）が起こった際体制が整っており、迅速に対応することができている。	80.4	↑ 0.8	79.6	69.6
11	相談体制が整備されており、児童生徒は気軽に教職員に相談等することができる。	89.1	↑ 7.6	81.5	76.8
12	児童生徒が楽しく行事に参加できるよう、工夫・改善を行っている。	89.1	↑ 3.9	85.2	92.9
13	児童生徒会の活動が自主的にできるように、支援を行っている。	58.7	↓ 6.1	64.8	62.5
14	教育活動に必要な情報を積極的に収集し、児童生徒・保護者や地域への周知に努めている。	76.1	↑ 2.0	74.1	66.1
15	体罰やセクハラ等の防止をはじめ、人権尊重に基づいた指導が行われている。	93.5	↑ 10.2	83.3	78.6
16	個別の教育支援計画、個別の指導計画について本人・保護者のニーズを踏まえ作成している。	91.3	↓ 6.8	98.1	91.1
17	医療機関や前籍校との連携が活発に行われている。	89.1	↓ 1.6	90.7	92.9
18	個人情報保護の観点から児童生徒の個人情報に関する管理システムが整っている。	95.7	↑ 3.1	92.6	87.5
19	校内研修は、幅広い教育実践に役立つような内容となっている。	69.6	↑ 2.9	66.7	73.2
20	コンピュータ等の情報機器が、授業などで活用されている。	95.7	↑ 12.4	83.3	92.9
21	教育活動における悩みについて、気軽に相談しあえる職場の人間関係ができています。	89.1	↑ 3.9	85.2	78.6
22	刀根山支援学校では、服務規律への自覚が高い。	78.1	↑ 7.7	70.4	69.6
23	施設設備について日常的に点検し、自己・災害等時に迅速に対処できるよう、役割分担が明確化されている。	89.1	↑ 11.3	77.8	75.0
24	刀根山支援学校には、他の部・分教室と積極的に協力しようという雰囲気がある。	76.1	↑ 7.6	68.5	69.6
25	地域支援は十分に行われている。	63.0	↓ 1.8	64.8	57.1
26	防災教育・安全指導は十分行われている。	87.0	↑ 1.8	85.2	78.6

<コメント>

▼学校全体で必要な応援体制を調整いただくようご検討お願いしたいです。

▼適正な人事配慮をお願いします。

▼全体としての研修が人権研修しかなく、子どもの疾病や子どもの支援についての研修が全体としてない。

人権研修を教員の子ども理解、疾病の理解の研修に振り替える必要がある。

▼コロナ感染症による、感染症対策の強化によってか、部署内の情報伝達、運営委員会等、外部から部署への情報伝達に今年は特に齟齬があるように思います。

お互いに離れている部署間においては情報伝達の不具合は致命的なミスにもつながりかねません。情報の伝達について円滑に行われるように工夫をお願いします。

▼他の部署に教員をヘルプで出す（or もらう）際の折衝に、室長同士だけでなく、もっと管理職にも入ってもらい、円滑な協力体制を構築してほしい。

ヘルプをもらった部署は何がどう助かったのか（or そうならなかったかも含めて）フィードバックしてほしい。ヘルプを出す側が授業を削ってでも緊急的に行く必要があるのか管理職から意見が欲しい。

児童生徒の数を青天井に受け入れてしまっしんどい部署があると思うので、その点をどのように教育委員会に伝えているのか、改善の方法や目処はあるのか管理職から教えてほしい。

▼G 判定の採用校種、教科を無視し、専門性を軽視した配属を何年も強制するのはやめてほしい。

分教室の距離が離れているにも関わらず、人事の異動に配慮がなされていない。

▼個々から様々な話をきかれると思いますが、分教室の職員室や教室にきて本当に雰囲気を感じ、話をきいてもらいたいと管理職の先生方に願っています。

▼校長先生へ直接お伝えしています。しかし、現状何も改善されていません。